

今道友信メモリアル・シンポジウム

IMS2018

劇団 Human Dust Union コラボ公演

# 太陽と月

～ジャンヌ・ダルクの光～

脚本 / 演出

大和鳴海

ジャンヌ・ダルクの苦悩や希望・・・そして願い。

彼女が最期に残した欠片を一緒に探しに行きませんか？

「あなたは私。私の光。それも脆く儂いガラスの光」

キャスト

大和鳴海	高橋真実	武内康浩	竹下久美子	稲村大輝	朝吉	彩未理加	相原真志
------	------	------	-------	------	----	------	------

2018年 11月17日(土)・12月8日(土)

☆昼の部 13:00 開演

★夜の部 17:00 開演

※開場は開演の30分前になります。

料金 2,500円(税込)

12月8日、昼の部では上演後、樺山紘一氏(印刷博物館館長)による  
スペシャル・トークを開催いたします。

会場 日本美容専門学校(コルティール2F)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 1-21-12



もっと源流へ、もっと本質へ!  
哲学文化塾

philoculture.jp

# 太陽と月

～ジャンヌ・ダルクの光～



竹下久美子



彩未理加



稲村大輝



朝吉

15世紀前半の欧州ヨーロッパ。フランスとイングランドとの間で起こった王位継承問題に端を発した戦争は、緊張と膠着状態を繰り返し、百年近くも戦乱の状態を続けることとなった。世に言う「百年戦争」である。

人々は疲弊し、荒み、病氣も蔓延する絶望的な状況の中で平和を渴望していた。そこに現れた一筋の光明。

「ジャンヌ・ダルク」

神の啓示を受けた彼女は、まさにフランスを解放へと平和へと導いた奇跡の乙女となった。しかし、負け戦の際に味方を逃がすために、自らが囮となったことで捕縛され、最期は火あぶりの刑となり、その身を天へと還した。

その前日の夜へと時間を遡ってみましょう。

彼女の抱いた苦悩や葛藤、そして、彼女が最期に何を伝えたかったのか・・・

彼女の真の望みとは・・・

私たちに遺してくれた大切な欠片を探す旅へと共に参りませんか。



武内康浩



相原真志



高橋真実

## 11月17日(土)・12月8日(土)

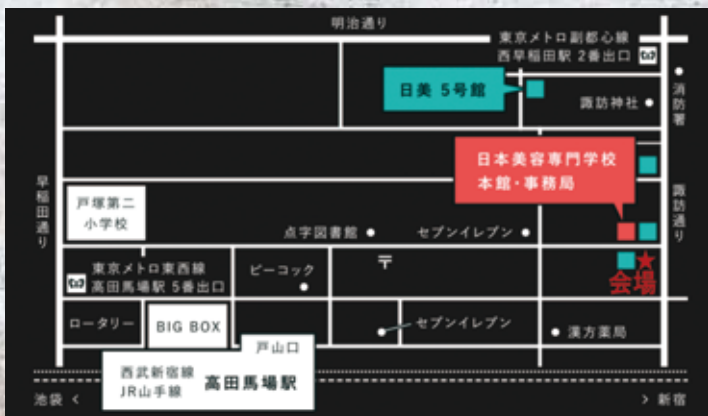
☆昼の部 13:00/ ★夜の部 17:00

お問い合わせ

<http://philoculture.jp>

[e-mail:info@philoculture.jp](mailto:info@philoculture.jp)

◎会場  
日本美容専門学校  
コルティエーレ 2F



脚本 / 演出 大和鳴海  
 照明 湯山和弘 (METAL MOON)  
 音響 鶴見直斗  
 舞台監督 大和鳴海  
 受付 かどたみゆき  
 加藤真紀  
 中島羽飛  
 製作 劇団 HumanDust Union  
 主催 哲学文化塾 (今道友信記念文庫)



もっと源流へ、もっと本質へ!  
哲学文化塾